

特別支援教育について

～ 困り感をもつ児童への支援 ～



南城市立佐敷小学校
校内支援委員会

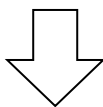
◆ 「特殊教育」から「特別支援教育」へ

- 平成19年4月より、それまで「特殊教育」と呼ばれていたものが、支援の対象を広げて「特別支援教育」になりました。
- 「特殊教育」は、障害の種類や程度に応じて、盲・聾・養護学校や特殊学級などの特別な場で教育を行っていましたが、「特別支援教育」は通常の学級に在籍する発達障害を有する児童生徒を含めて、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育的支援を行っていくものです。

◆ 特別支援教育の対象となる児童は・・・

- 特別支援教育を受ける児童生徒（特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室）
- 通常学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒

こんな子いませんか？



聞く・話す

- ・ 一斉指示ではわからない
- ・ 聞き違い、聞きもらしが多い
- ・ 自分の思いを伝えられない



読む・書く

- ・ 行をとばして読む ・ たどたどしく読む
- ・ よく似た漢字を書き間違ふ
- ・ 鏡文字になる ・ 漢字が覚えられない



計算する・推論する

- ・ 計算に時間がかかる ・ 計算ミスが多い
- ・ 位取りが混乱する ・ 図形や応用問題が苦手

運動する・動作する

- ・ 動きがぎこちない ・ 人とあわせる動きが難しい
- ・ なわとび・ボールなど、物をうまく使えない
- ・ はさみやコンパスが苦手

行動する

- ・ 落ち着かない、立ち歩く
- ・ 気が散りやすい ・ こだわりが強い
- ・ 一番にならないと気がすまない
- ・ すぐかっとなる ・ 友だちとうまく遊べない
- ・ 話の途中で口をはさむ ・ 場の空気が読めない

生活する

- ・ 忘れ物が多い
- ・ 片付けができない
- ・ 自分に自信がなく、チャレンジしない
- ・ 準備ができない
- ・ 新しい環境や変化が苦手



◆ 佐敷小学校では・・・

- 学校長を代表とする「校内支援委員会」で、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な支援を考えていきます。
- 保護者との教育相談を通して、家庭と学校の連携をサポートします。また、必要に応じて「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を作成し、支援を行います。
- 学校内だけの教育だけではなく、児童への支援に関して相談できる医療や福祉、教育センターなどの専門機関を紹介し連携を図ります。

つまずきに気づいたところから支援が始まります。気になることがあれば、担任、または、特別支援教育コーディネーターに相談してください。

相談日：毎週水曜日（午後4時～午後5時）TEL 947-6212

